

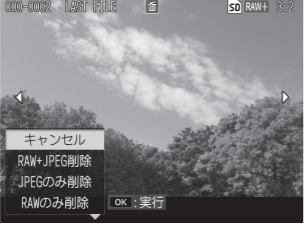
JA この度は、GR をお買い求めいただきありがとうございます。
この製品は、機能のバージョンアップによって以下の点で使用説明書の
内容と異なりますので、読み替えてお使いください。
※（ ）内は、使用説明書内の参照ページです。

撮影モード

- ・絞り開放時のシャッタースピードは、最高 1/2500 秒まで設定できます。
- ・撮影画面 (P.18) でNo.21～25 のアイコンの並び順が変わっています。

再生モード

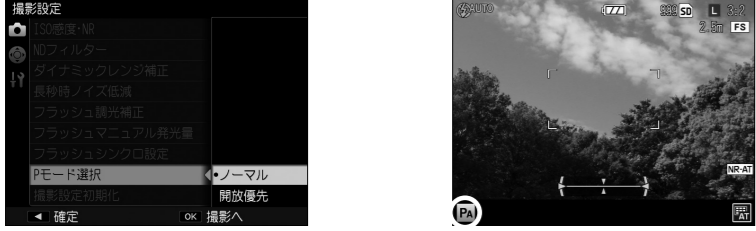
- ・再生モードで電源をオンにした後、シャッターボタンを全押しすると、撮影モードに切り替わります。(P.28)
- ・[RAW+JPEG 削除][JPEG のみ削除][RAW のみ削除] が追加されました (P.89)。
- ・**[RAW+]** で撮影された RAW 画像および JPEG 画像が記録されていると、[1 ファイル削除]の代わりに表示され、選んだ項目に該当する画像のみを削除できます。



[撮影設定] メニュー (P.120～122)

[P モード選択]

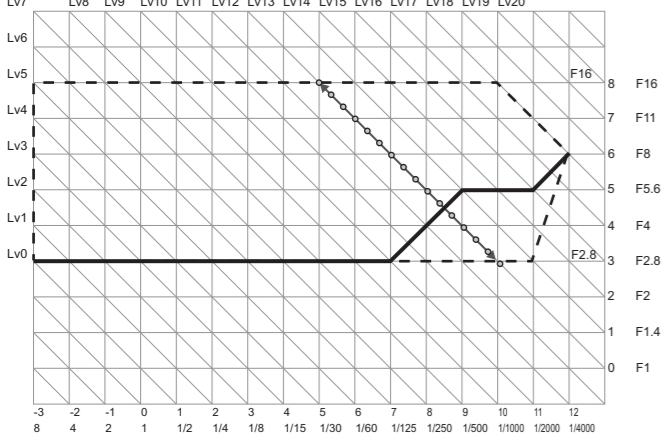
開放優先のプログラム線図選択が追加されました。
[P モード選択] が追加となり (P モード/M モード設定時のみ)、[ノーマル] [開放優先] から選択できます。
P モードで [開放優先] を選択すると、撮影画面に **Pa** が表示されます。



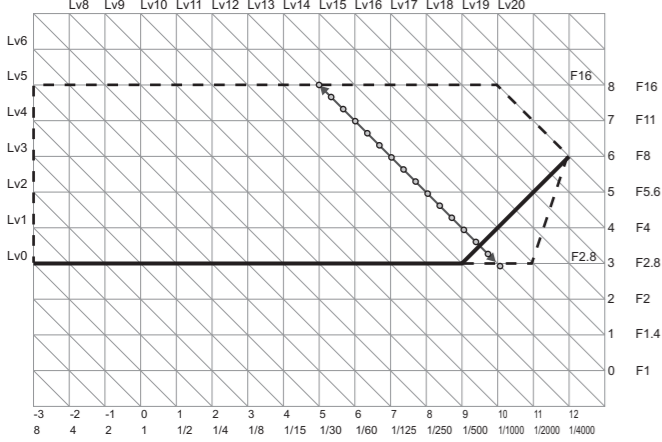
メモ

- ・[ノーマル] [開放優先] 選択時のプログラム線図は、それぞれ以下のとおりです (ISO 感度を [ISO 100] に設定した場合)。

[ノーマル]



[開放優先]



- ・[キーカスタム設定] メニューの [M モード ワンプッシュ動作] (P.44) で [プログラム] を選択している場合は、本設定に従い、絞り値とシャッタースピードが調整されます。

[クロップ]

47mm (35 ミリ換算) のクロップが追加されました。
[35mm クロップ] が [クロップ] となり、[OFF] [35mm] [47mm] から選択できます。
[35mm] [47mm] を選択すると、撮影画面で **[CROP]** の代わりに **[35mm]** または **[47mm]** が表示されます。(P.18)



メモ

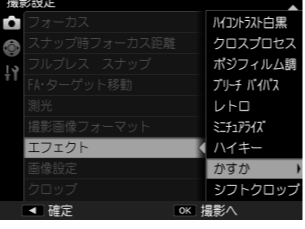
- ・[47mm] に設定すると、47mm (35 ミリ判換算) 相当の画角での撮影となります。
- ・[47mm] に設定した場合、[撮影画像フォーマット] の [フォーマット・サイズ] で **[L]** / **[M]** が選択できなくなり、RAW ファイルは **[S]** で記録されます。
- ・[キーカスタム設定] メニューの [Fn1 ボタン設定] [Fn2 ボタン設定] [エフェクトボタン設定] で [28/35mm] または [28/35/47mm] を登録しておく、登録したボタンを押すごとにクロップする画角が変わります。(P.113)



[エフェクト] (P.78)

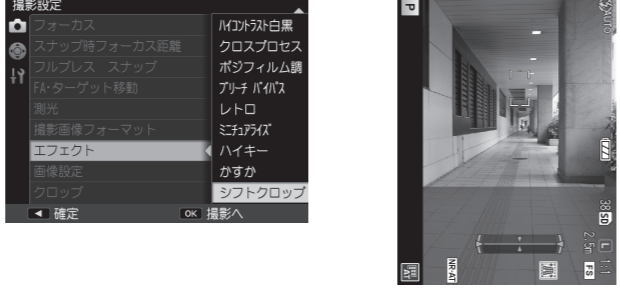
[かすか] [シフトクロップ] が追加されました。

[かすか] は撮影画像の色を“かすか”に残すエフェクトです。
[彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。



[シフトクロップ] は、縦位置画面の上側、または下側 1:1 の範囲を切り出して記録するエフェクトです。

Fn2 ボタンを押すことで、画面の上下どちらを切り出すかを選ぶことができます。



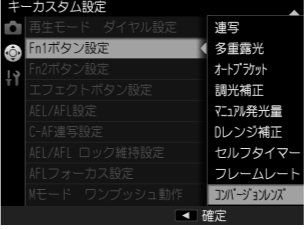
メモ

- ・[シフトクロップ] に設定して、縦位置で水平にカメラを構えて撮影すると、パスが少なく、かつ安定した構図の写真の撮ることができます。
- ・[シフトクロップ] は、オート撮影モード、および動画撮影モードに設定されているときは選択できません。
- ・[シフトクロップ] 設定時は、関連する設定や動作が、以下のように制限されます。
 - [画像設定] は [スタンダード] になります。
 - [フォーカス] の設定が [マルチ AF] や [スポット AF] [被写体追尾 AF] (P.54) または [コンティニュアス AF] (P.59) に設定されているときは、いずれも [スポット AF] で動作します。
 - [オートブラケット] (P.68) で [Effect-BKT] に設定されていても、ブラケット撮影は行われません。
 - また [Effect-BKT] では [シフトクロップ] を選ぶことはできません。
- ・[シフトクロップ] で撮影された RAW 画像を現像する際 (P.99)、他のエフェクトを選ぶことはできません。また他のエフェクトで撮影された RAW 画像を現像する場合は、[エフェクト] で [シフトクロップ] は選べません。

[キーカスタム設定] メニュー (P.124～125)

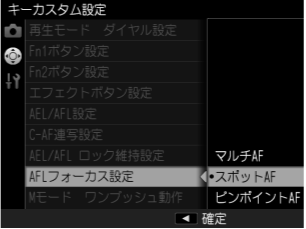
[Fn1 ボタン設定] [Fn2 ボタン設定] [エフェクトボタン設定]

登録できる機能に、[コンバージョンレンズ] (P.142) が追加されました。



[AFL フォーカス設定]

[AFL フォーカス設定] が追加されました。
AF ファンクション切り替えレバーが AEL/AFL で、AF ボタンを利用したときの動作を選べるようになります (バージョンアップ前はスポット AF のみ)。
[マルチ AF] [スポット AF] [ピンポイント AF] から選択できます (初期設定は [スポット AF])。

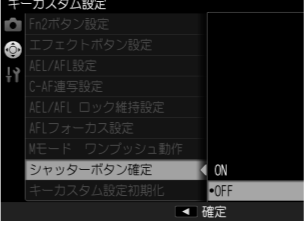


メモ

この機能での設定内容は、シャッターボタン半押しでの AF 動作には反映されません。

[シャッターボタン確定]

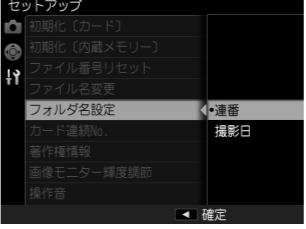
[シャッターボタン確定] が追加されました。
[ON] を選択すると、シャッターボタンの半押しで、ADJ. モードや露出補正の設定を確定できます。



[セットアップ] メニュー (P.126～128)

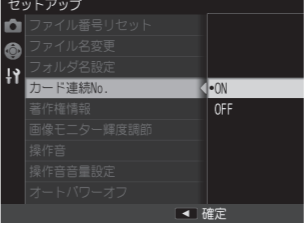
[フォルダ名設定]

[フォルダ名設定] が追加されました。
[連番] [撮影日] から選択できます (初期設定は [連番])。
[撮影日] を選択すると、フォルダ名が [xxx_MMDD] (3桁のフォルダ番号_月日) となります。



[カード連続No.]

[カード連続No.] が追加されました。
[ON][OFF] から選択できます (初期設定は [ON])。
[OFF] を選択すると、メモリーカードを替えるたびに、R0**0001 のファイル番号 (P.118) から記録が始まるようになります。

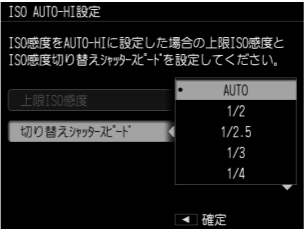


メモ

設定内容は、いったん電源をオフにし、再度オンにしたときに反映されます。

[ISO AUTO-HI 設定]

[ISO 感度ステップ設定] が [1/3EV] に設定されているときの、[切り替えシャッタースピード] の設定値が 1/3EV ステップになります。



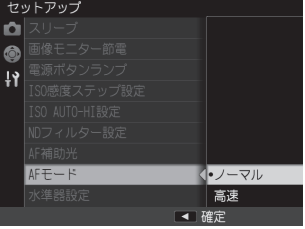
[コンバージョンレンズ] (P.142)

[MACRO] が追加されました。[OFF] [WIDE] [MACRO] から選択できます (初期設定: [OFF])。
ワイドコンバージョンレンズ (GW-3) を使用するときは [WIDE]、マクロコンバージョンレンズ (GM-1) を使用するときは [MACRO] に設定します。
マクロコンバージョンレンズ (GM-1) の着脱方法は、ワイドコンバージョンレンズ (GW-3) /フード&アダプター (GH-3) と同じです。



[AF モード]

[AF モード] が追加されました。
[ノーマル] [高速] から選択できます (初期設定は [ノーマル])。
[高速] を選択すると、オートフォーカスの合焦速度が向上します。



メモ

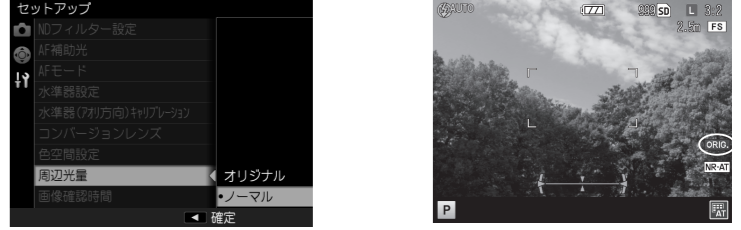
- ・[高速] に設定すると、オートフォーカスの動作中は、画像モニターの表示が停止します。構図を細かく調整しながら撮影したい場合は、[ノーマル] に設定してください。
- ・以下の場合は、[高速] 設定時でも、[ノーマル] の設定で動作します。
 - [撮影設定] メニューの [フォーカス] (P.54) で、[被写体追尾 AF] または「コンティニュアス AF」に設定されているとき。
 - [撮影設定] メニューの [FA・ターゲット移動] (P.60) で、[ターゲット移動設定] の設定がされているとき。

[Eye-Fi RAW 転送]

[Eye-Fi RAW 転送] が追加されました (RAW 対応の Eye-Fi カードがセットされている場合のみ)。
[禁止] [許可] から選択できます。[禁止] を選択すると、選択画像送信時に RAW データは転送されません。

[周辺光量]

[周辺光量] が追加されました。
[オリジナル] [ノーマル] から選択できます (初期設定は [ノーマル])。
[オリジナル] を選択すると、銀塩 GR と同程度の周辺光量での撮影ができるようになります。また撮影画面で **ORIG** が表示されます。

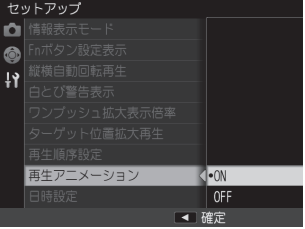


メモ

[オリジナル] の設定で撮影された RAW 画像は、[再生設定] メニューの [RAW 現像] のパラメーターで [ノーマル] を選択することができます (ただし [ノーマル] を選択して撮影された画像では [オリジナル] は選べません)。

[再生アニメーション]

[再生アニメーション] が追加されました。
[ON][OFF] から選択できます (初期設定は [ON])。
[OFF] を選択すると、1 画像での再生 (P.38) で、前後の画像に切り替えるときのアニメーション処理 (右から左へ画面が流れる効果) が無効になります。



メモ

[スライドショー] (P.87) の表示では、アニメーション処理は無効です。

[再生設定] メニュー

Eye-Fi 選択画像送信時の残り枚数表示 (P.103)

[Eye-Fi 選択画像送信] で画像送信中に、残り枚数が再生画面に表示されます。

Eye-Fi 選択画像送信時の転送ファイル名 (P.103)

フォルダー番号が 200 以上の画像も転送できます。
転送される画像のファイル名は、以下のようになります。

フォルダー名下 2 桁 + ファイル名下 6 桁

[RAW 現像] (P.99)

[RAW 現像] のパラメーターに [アスペクト比] が追加されました。
3：2 のアスペクト比で撮影された RAW 画像を現像する際に、[3：2][4：3][1：1] から選択できます。

メモ

4：3、1：1 のアスペクト比で撮影された RAW 画像の現像時には選択できません。(パラメーターとして表示されません)。